

日本電産が業績予想を下方修正－見通しポジティブを継続

以下は、日本電産株式会社（証券コード：6594）が19/3期通期業績予想の修正を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は1月17日、19/3期通期業績予想を下方修正した。売上高は1兆6,000億円から1兆4,500億円、営業利益は1,950億円から1,450億円にそれぞれ変更した。米中貿易摩擦の影響などを受け、中国を中心に売上高が減少していることに加え、構造改革費用240億円を計上する。構造改革費用の内容は、工場統廃合による設備の減損、在庫の廃却などである。
- (2) JCRでは18年10月29日に当社の長期発行体格付を「AA-」、見通しを「ポジティブ」と公表している。事業ポートフォリオの転換が進み、強固な収益基盤が構築されているというJCRの見方を現時点で変える必要はないと考えている。中国を中心とした需要動向や事業構造改革の効果を含め、今後の業績・財務の方向性を確認していく。

(担当) 関口 博昭・川越 広志

【参考】

発行体：日本電産株式会社

長期発行体格付：AA-

見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル